

第4講 地震によるライフラインの被害の予測

京都府地震被害想定調査結果の報告

上水道

兵庫県南部地震では、兵庫県内の9市の全給水世帯136万6千戸のうち9割以上の124万7千戸で断水が発生し、その復旧には神戸市で約2か月半を要しました。

京都府で同様の地震が発生した場合、被害の大きい地域を中心に復旧に2～3か月を要するものと予想されます。

お風呂に入りたいよー



ライフラインは暮らしの生命線。対策を十分に考えておかねばな。

電話

兵庫県南部地震では、所内設備の被害により、一時的に28万5千回線に支障が出ました。また、所外設備のケーブルが電柱や建物の倒壊などによって損傷し、19万3千回線の電話が不通になりましたが、建物倒壊などで使用不可能な回線を除く10万2千回線が約2週間で回復されました。

京都府で同様の地震が発生した場合、被害の大きい地域を中心に、1～2週間の通話不能が予想されます。



電力

兵庫県南部地震では、送変電設備と配電設備の被害により、260万戸が停電しましたが、送電系統の切替で2時間後には被害の大きかった神戸市・西宮市などを除く160万戸で復旧しました。また、被害を受けた電柱や架線などの復旧も進み、6日後には建物倒壊などで使用不可能なところを除き、全域で応急送電が完了しました。

京都府で同様の地震が発生した場合、被害の大きい地域を中心に、電力の完全復旧までに約1週間程度を要するものと考えられます。



ガス

兵庫県南部地震では、ガスの製造・供給の主要設備や高圧導管には被害はありませんでしたが、低圧導管、特に鋳鉄及び鋼管のねじ継ぎ手部に多くの被害を受け、二次災害防止のために約86万戸(15%)の供給が停止され、復旧が完了するまでに約3か月を要しました。

京都府で同様の地震が発生した場合、被害の大きい地域を中心に、復旧までに2か月程度を要することが考えられます。

